

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス スマイリーハーツ			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		～	2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの内容	利用児童が色々なプログラムで活動できるよう、曜日固定で外部講師を招いてプログラムを実施する、また制作、運動、調理、SST等将来必要となるスキルを身につけるようなプログラムを実施する、等、5領域を網羅するような支援に取り組んでいる	平凡化しないように同じプログラムの中でも変化や上達が見えるようにしていく
2	社会生活の中での支援	長期休暇期間には様々な場所への外出支援を実施、公共の交通機関、外食先でのマナー等、社会生活の中でのマナーやスキル等を身に付けられるよう支援している	平日でも可能な外出プログラムを検討していく
3	利用児童へのやる気の引き出し	小さなことでも褒められるよう、帰る前には必ずひとつは褒められるように、帰りの会で「素晴らしかった点」を職員が発表し、ご褒美シールをもらうなどして目で見える結果をやる気につなげていく取り組みをしている	児童が喜んで自分から参加、達成していくような活動を考えて取り組んでいく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースにより制約が出てしまう点	スペースが限られているので特に運動を行う場合にスペースが足りないと感じることがある。	机を端に動かして場所を確保するなどをまめに行うようにして地域の体育館等借りられるようにチャレンジしていく
2	保護者間情報共有の機会の提供	それぞれの家庭環境がちがうのでなかなか保護者の皆様が集まるのは問題点が多く必要ないとの声もある中、実施出来ていない	家族参加の夏祭り等を炉用して、すこしでも交流が持てる機会を設けるよう取り組んでいく
3	地域連携支援への取り組み	現在は地域のお祭りに参加したり、地域のお仕事を見学体験したりくらいしかできていない	もう少し地域への活動に参加し、周りの方々にも事業所の存在をわかってもらえるように取り組んでいく